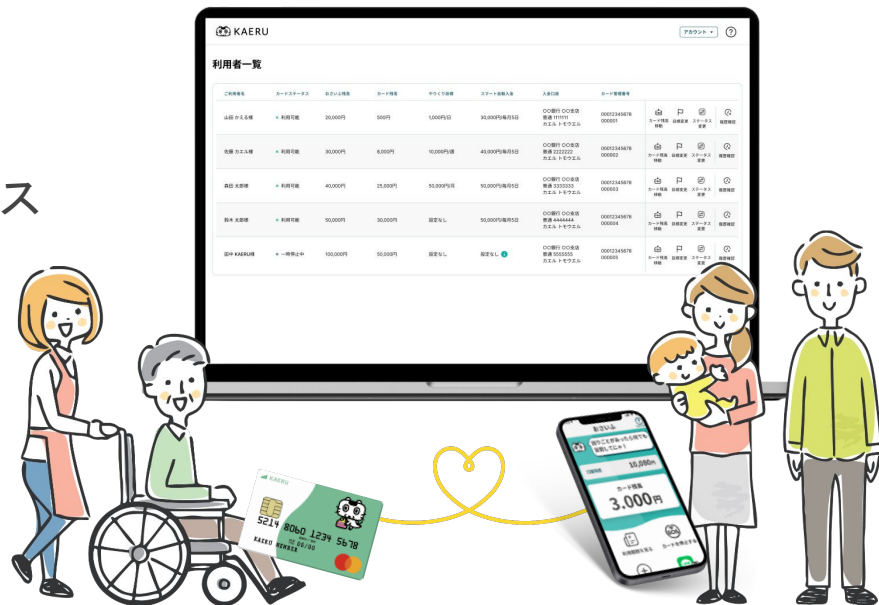


金銭管理が不安な方と
サポートする方を繋ぐ
みまもり機能付きキャッシュレスサービス





会社紹介

会社概要

VISION

誰もが買いものを楽しみ続けられる世の中にする

認知力が弱っても本人がやりたい生活を続けられる、そんな世界を目指して私たちはサービスを展開しています。

会社概要

会社名: KAERU株式会社

住所: 東京都中央区日本橋兜町9-5

兜町平和ダイヤビル THE HUB 日本橋兜町823号室

設立: 2020年10月9日

資本金: 10,000,000円

事業内容: みまもり機能付き決済アプリ

「KAERU」

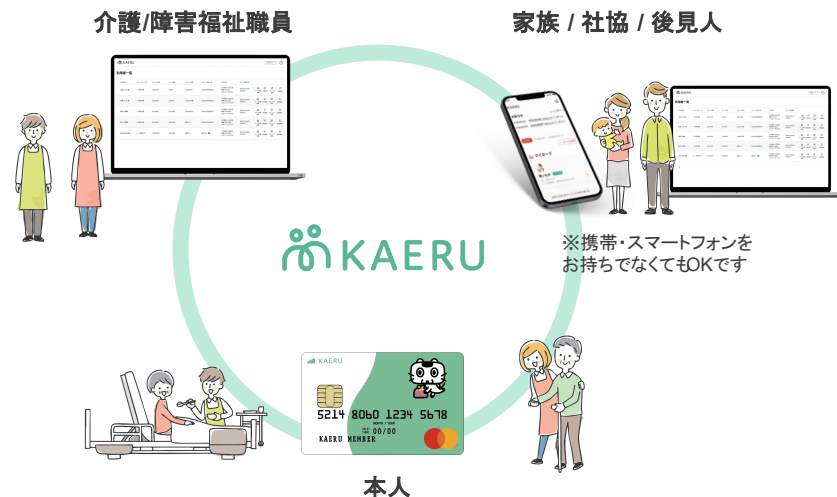
自立支援を行う行政機関・成年後見人向けサービス

「KAERU Biz 権利擁護」

介護施設・訪問介護向けサービス

「KAERU Biz 介護」

サービスイメージ



自己紹介



KAERU株式会社
代表取締役 CEO
岡田 知拓 Okada Tomohiro

新潟県出身。東京農工大学応用生命化学修士卒。
新卒で決済ベンチャーの法人営業・事業開発を担当。海外に拠点を移し、東南アジアのスタートアップにジョイン。その後、日本に戻りLINE株式会社に入社。
LINE Payサービスの立ち上げ初期から、戦略立案から個別のプロダクト企画など、広範にグロースに携わる。
利用者にとって、より付加価値のあるペイメントサービスを創りたいと考え、2020年の10月にKAERU株式会社を創業。
一般社団法人 認知症予防協会 MCI専門士、終活アドバイザー、認知症サポーター、訪問介護の資格を有している。

行政との連携/受賞歴

東京都
東京金融賞 金融イノベーション部門 1位

大阪府、静岡県社協との
キャッシュレス連携協定

福岡県大川市
持続可能な権利擁護支援 /ICTを活用した金銭管理手法開発



経済産業省
オレンジイノベーションアワード 優秀賞



厚生労働省老健事業
認知症の人の「希望をかなえるヘルプカード」を開発協力



福岡県
「認知症の方の未払い行動を考える」シンポジウムに登壇



メディア掲載

NHKの夕方のニュースにて
高齢者向けキャッシュレスとして特集

読売新聞(2024年5月4日)
認知症向け現場発の製品

Forbes JAPAN
2025年度版、世界を変える
「次世代インパクトスタートアップ」

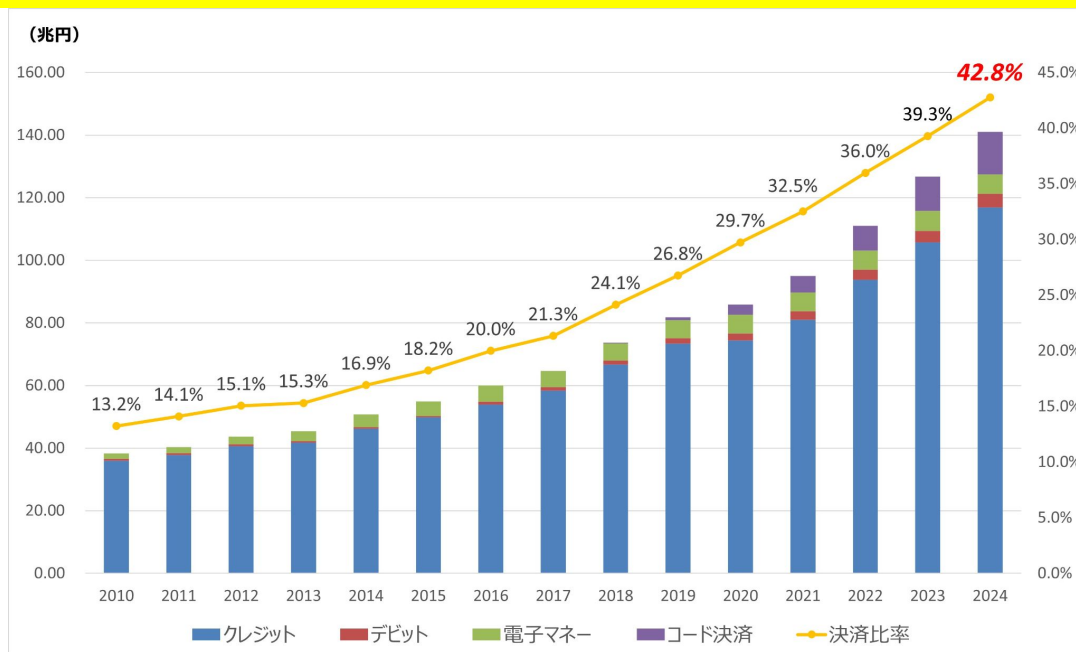




キャッシュレスの広がり

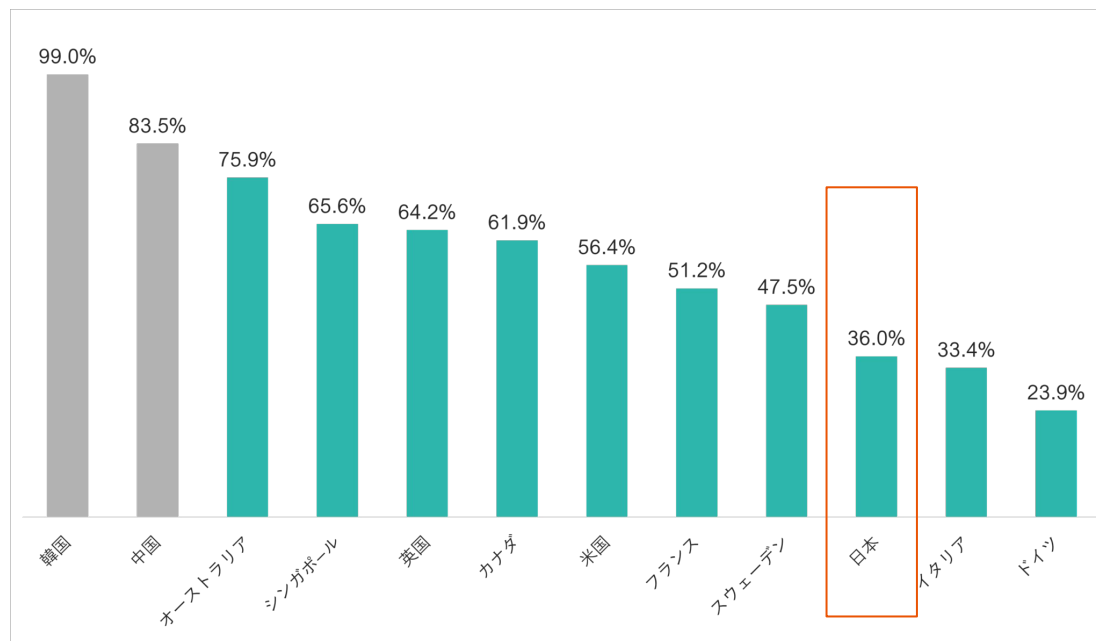
キャッシュレスの広がり_日本

2024年のキャッシュレス決済比率は、42.8%と伸びている



キャッシュレスの広がり_世界

世界主要国と比べるとまだまだ低い水準(2022年)





キャッシュレスは 金銭管理の課題解決になるのか

現状の高齢者/障がい者の支援にまつわる課題

生活費の支援をする家族も、高齢者/障がい者自身も
生活のサポートをする立場の介護職も課題が多い

家族や行政・後見人

遠距離のサポート
細かな生活費の受け渡し
働きながらの介護



高齢者 障がい者本人

現金の取り扱いの難しさ



支援の現場

盗難・不正が起こりやすい実情



遠隔からのサポートが可能で、おつりが不要、履歴が残って透明性も高い
キャッシュレスは、現場の課題を解決する糸口となり得る

金銭管理が難しい方ではどのキャッシュレスが良いか

お金の
流れ

本人の
使い易さ

支援の
しやすさ

Product

プロダクト

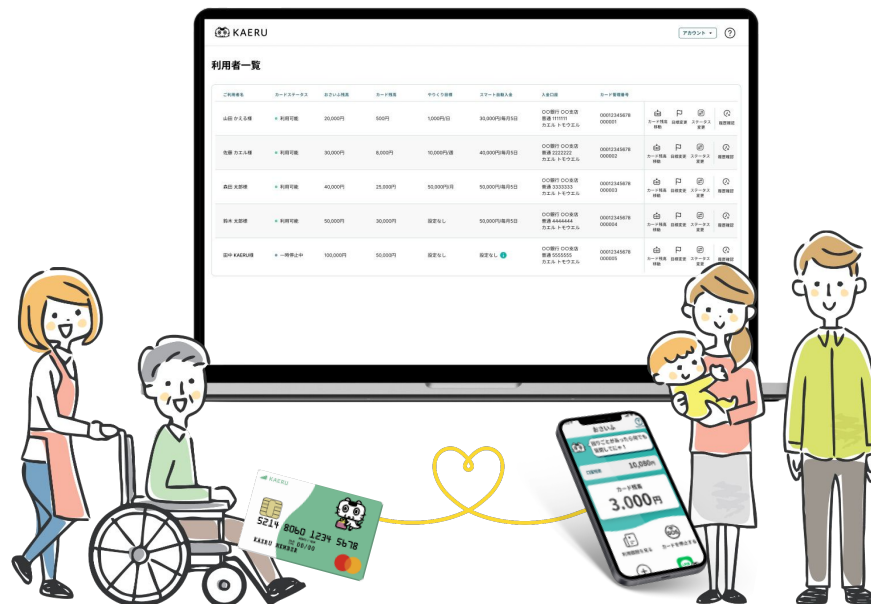
キャッシュレスを活用し
関わる方全てに透明性、安全性、利便性を提供

利用者本人
向け

家族支援
向け

おひとりさま
支援

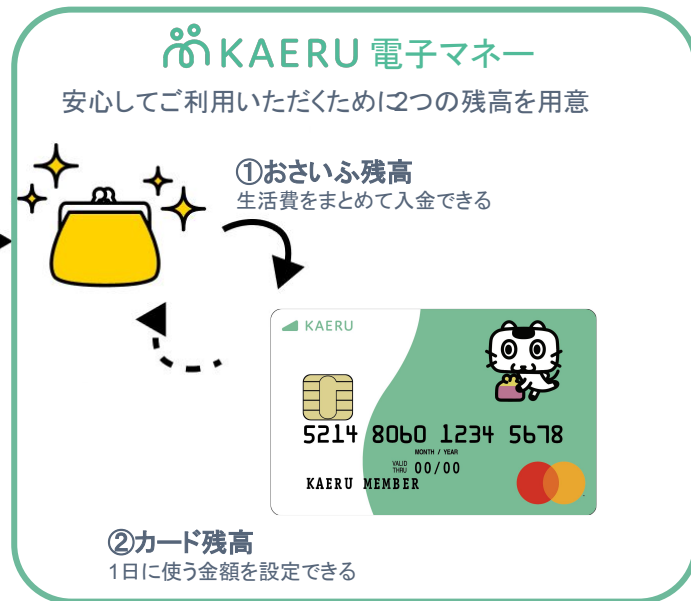
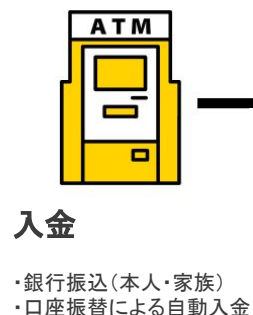
介護・障がい
福祉向け



Product

プロダクト

使いすぎず日々の予算をやりくりできるプリペイドカード
本人もヘルパーも使える、スーパー・ドラッグストアで利用可能



<利用店舗一例>



※弊社調べ。店舗によっては使えないケースもございます

Product

プロダクト

家族はアプリで離れていてもサポートできます

家族支援
向け



※2025年夏アップデート予定

みまもり通知

買い物したタイミングで通知が届き履歴も確認

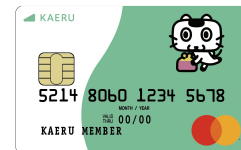
やりくりサポート

1日に使う予算を設定できる

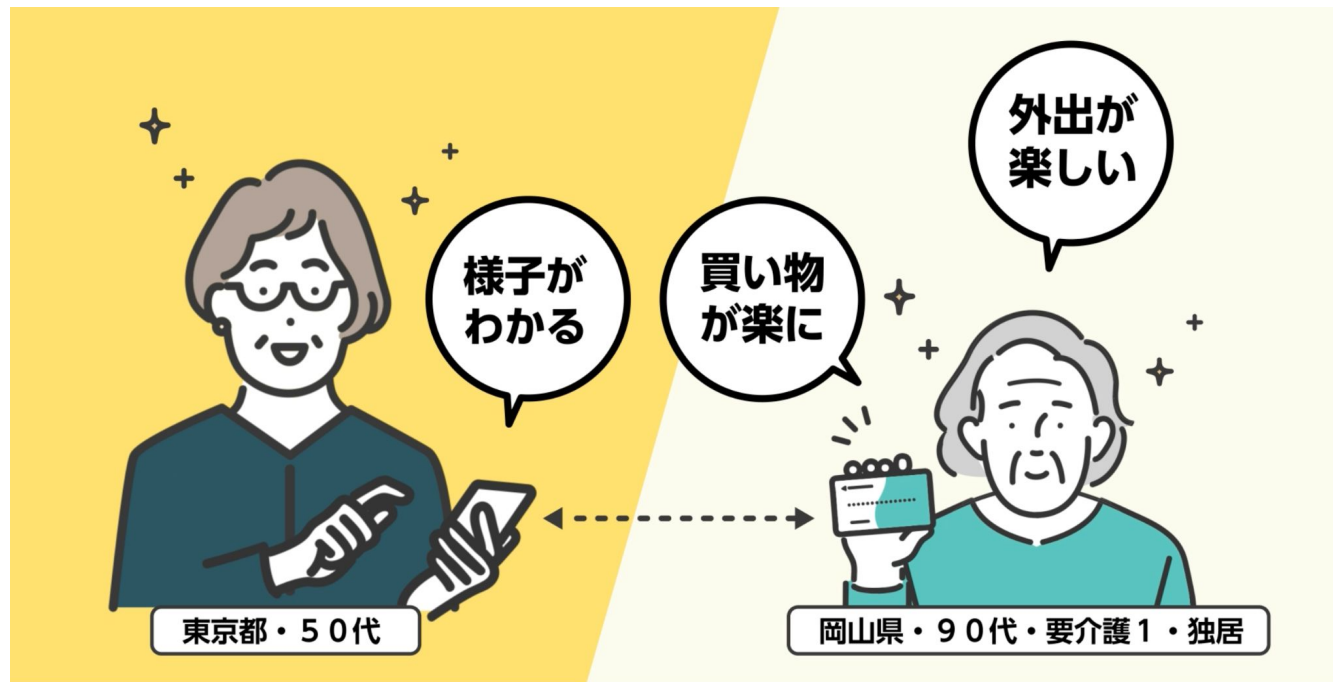
紛失時の一時停止

万が一の時にも安心、再発行も可能

プリペイドカードにチャージ



利用者の声:離れた場所からの支援(家族/本人)



「コミュニケーションのきっかけになっている」

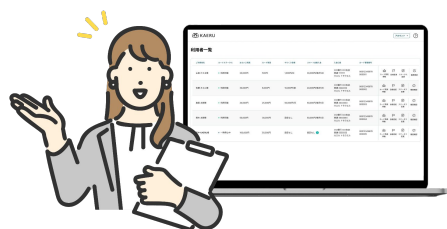
[動画リンク](#)

Product

プロダクト

行政や成年後見人が金銭管理できる管理画面も開発。おひとりさまの対応にも活用

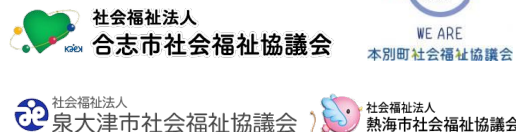
おひとりさま 支援



導入先(一部抜粋)



蒲郡市社会福祉協議会



都道府県単位での業務提携



DX支援の効果



ご利用者との
やりとり



銀行への訪問



支払代行



ご利用者宅への訪問

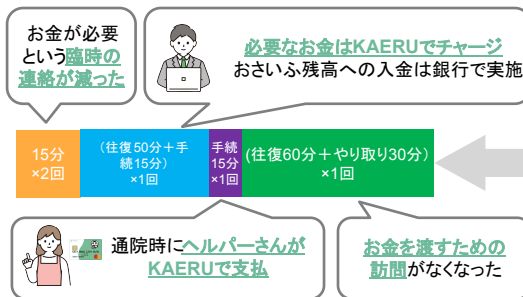
月当たりの合計時間

KAERU導入前



590分

KAERU導入後



およそ1/3に減少

200分

さらに

スマート自動入金
導入後



およそ1/4に減少

135分

その他の効果

- 施設がお金を預からなくてもよくなったので、管理の負担が減った
- 利用者の手元にある金額(カード残高)がすぐ分かるようになった 他



おさいふ残高に自動的に
振り込まれるので銀行に
行く必要がなくなった

利用者1名当たり
約90時間/年※
の効率化が見込めます

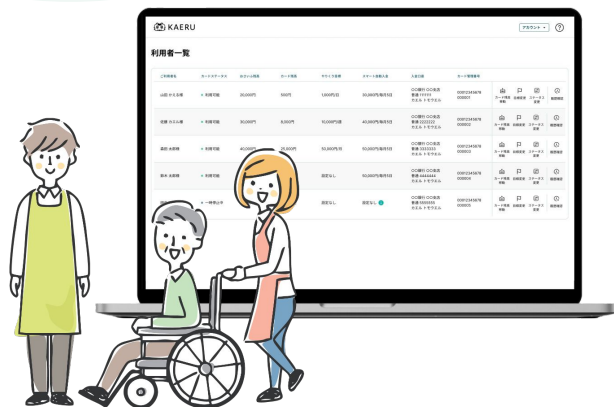
※銀行、訪問者宅等との距離や現状のやり取り頻度などにより上下します。

Product

プロダクト

認知症の本人も介護職員も安心して使えるMasterブランドのプリペイドカード

介護・障がい
福祉向け



どこでも使える

スーパー、ドラッグストアなどどこでも使える

受け渡して使える

介護施設職員やヘルパーが使える

不正防止

管理画面で一元管理、関連特許も取得済み

介護施設の声

障害グループホームの運営者

グループホームおーるわん
施設管理者さま

介護包括型障害者グループホーム
入居者 30名、KAERU利用者10 名



障害の特性上、小銭が残りがちで
管理が大変でした。毎回Wチェックを
していても、どうしてもお金が合わないことがありまし
た。

でも今は、毎日の残金チェックやお金を数える手間、出
納帳の記入作業がなくなり、お金が合わない・足りない
という心配もなくなって安心です。利用者さんも、カード
で支払えるようになったおかげで、小銭を出す手間が
なくなり、楽になったと言っています。

現金の預り金運用

(家族とのお金のやりとり)

受け渡し時の現金の確認
(5分)

残金・レシートの受け取り
(5分)

残金・レシートを事務員で
Wチェック貼り付け
(20分)

トータル
150時間
/月

30分
×
10人
×
30日

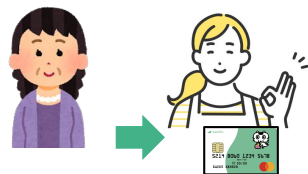
KAERU 運用

カードの受け渡し
(1分×2)

トータル
10時間/月
2分×10人×30日

月140時間分の
業務削減効果
現金取扱いの
リスク低減効果

その他、活用事例



KAERUならヘルパーさんによる代理利用もできます

- 【どんな方】 80代・認知症
- 【普段の生活】 ご自身では買い物に行かず、ヘルパーさんが買い物代行。
- 【利用シーン】 買い物代行時にヘルパーさんがカード利用。キャッシュレスでお互いに便利に。



キャッシュレス可能な病院が増えてきています！

- 【どんな方】 70代・認知症
- 【普段の生活】 買い物はご自身で。定期的に病院にも通院。
- 【利用シーン】 病院の支払いもKAERUで一本化。病院に行く日だけ追加チャージで対応。



普段の買い物が多い人ほどやりくり設定がフィット

- 【どんな方】 30代・知的障害
- 【普段の生活】 障害者グループホームに入居。仕事もしながら買い物もご自身で。
- 【利用シーン】 やりくり目標の設定により計画的な利用が習慣化



ネット/ゲームでの決済もKAERUなら使い過ぎ防止

- 【どんな方】 50代・精神障害
- 【普段の生活】 ゲーム課金でキャリア決済の使いすぎに苦慮。
- 【利用シーン】 KAERUをネットでのメイン決済にすることで、使いすぎを防止



誰もが買いものを楽しみ続けられる世の中にする